

食道がん

1	オプジーボ/ヤーボイ
2	D C F
3	5-FU(800) /オプジーボ
4	5-FU(800)
5	FP 700/70
6	FP 800/80+キイト ルーダ
7	FP 800/80+オプジーボ
8	FP 800/80
9	放射線併用 FP1000/75
10	ドセタキセル単剤70mg/m ²
11	パクリタキセル100mg/m ² 毎週

化学療法計画書

治療法名		オブジーボ/ヤーボイ			
コース数		コース目			
腫瘍種		非小細胞肺がん 食道がん			
患者名				♂	年齢
患者ID		生年月日			
部署		主治医		科	Dr
開始予定日					
治療内容	Day	1		22	
	予定日	1/0		1/21	
オブジーボ	360 mg/ body	↓		↓	
ヤーボイ	1 mg/kg	↓		↓	
治療開始日		治療間隔		6週毎	予定コース数
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA		49 mL/min	

day1

インラインフィルターを使用

- 1) 生理食塩液 50mL 血管確保
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL
オブジーボ 360mg 30分
- ↓
- 3) 生理食塩液 50mL 30分
(観察)
- ↓ (ヤーボイ 5mg/mL)
- 4) 生理食塩液 50mL
ヤーボイ 50mg 30分
- ↓ ヤーボイの液量分+10mLを生食から
- ↓ 抜き、ヤーボイ分を生食に追加
- ↓ 総液量は40mL
- 5) 生理食塩液 50mL フラッシュ

ヤーボイ
BW: 40kg未満の場合
総液量を30mLとする

day22

インラインフィルターを使用

- 1) 生理食塩液 50mL 血管確保
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL
オブジーボ 360mg 30分
- ↓
- 3) 生理食塩液 50mL フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意
(軽度 ~ 中等度)
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

化学療法計画書

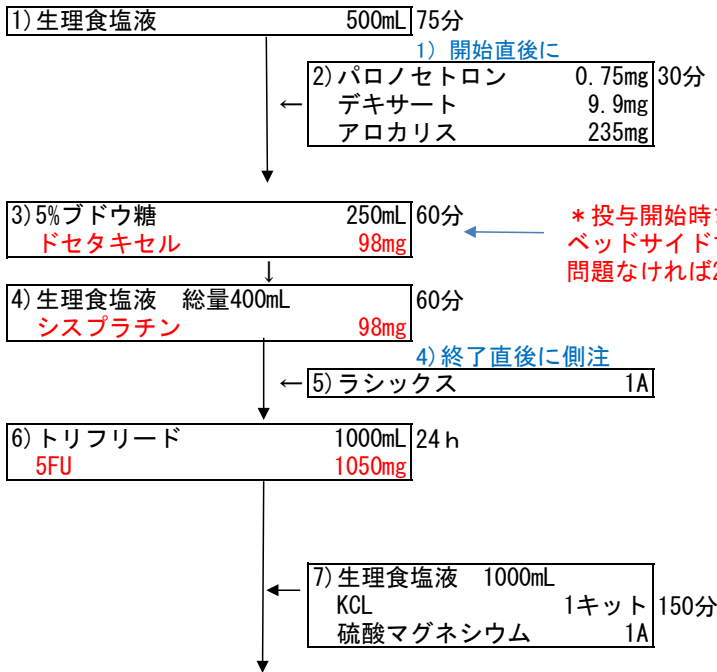
治療法名	DCF		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
氏名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
ドセタキセル	70 mg/m ²	↓											↓			
シスプラチン	70 mg/m ²	↓											↓			
5-FU	750 mg/m ²	↓ ↓ ↓ ↓ ↓											↓ → (5日間)			
パロノセトロン	0.75mg	↓											↓ ↓ ↓ ↓			
デキサート	9.9mg	↓											↓			
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓										↓ ↓ ↓ ↓			
アロカリス	235mg	↓											↓			
オランザピン	5mg	↓ ↓ ↓ ↓														
ジーラスタ	3.6mg							↓ (day7)								
治療開始日	2001年8月1日			治療間隔	3週毎			予定コース数	4 コース							
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

投与開始基準	
・ WBC ≥ 3000	・ 好中球 ≥ 1500
・ PLT ≥ 100,000	Hb ≥ 9.0
・ AST/ALT ≤ 100, T-Bil ≤ 1.5	(これを満たさないときDOC減量考慮)
・ Cr ≤ 1.2	・ Ccr ≥ 50
	(これを満たさないときCDDP減量考慮)

メイン400mL/hで投与（ドセタキセルは除く）



Day 2-4	
1) 生理食塩液	50mL 全開
デキサート	6.6mg

2) トリフリード	1000mL 24h
5-FU	1050mg

翌日まで
* 投与開始時まず5mL早送りし、10分間は50mL/hとしてベッドサイドで嚴重にアレルギー症状を観察問題なければ250mL/hへ

Day 5	
1) トリフリード	1000mL 24h
5-FU	1050mg

Day 6	
1) 生理食塩液	50mL フラッシュ

次コース以降の投与開始基準	
・ WBC ≥ 3,000	・ Neu ≥ 1500
・ Plt > 100,000	
・ AST/ALT ≤ 100, Cr ≤ 1.2	
・ PS 0-2・神経障害、浮腫G1以下	
・ その他の非血液毒性 G2以下	

減量基準	
・ G4の血液毒性、発熱性好中球減少	
・ G2神経毒性	
→ CDDP60mg/m ² に DOC45mg/m ² に	
・ G3以上の下痢・口内炎・食欲不振	
→ CDDP60mg/m ² に 5-FU800mg/m ² に	
・ Cr ≥ 1.5	
→ CDDP60mg/m ² に	

注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

- * 1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談（毎日1日1回体重測定）
- * オランザピン5mgはday1の夕から

化学療法計画書

治療法名	5-FU(800) / オプジーボ															
コース数	1	コース目														
腫瘍種	食道がん															
氏名		♂	年齢													
患者ID			生年月日													
部署		主治医	科	Dr												
開始予定日																
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0		1/7		1/14		1/21		1/28						
オプジーボ	240 mg	↓									↓					
5-FU	800 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓						↓	↓	↓	↓	↓
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓	↓							↓	↓	↓	↓	↓
治療開始日				治療間隔		4週間毎	予定コース数						コース			
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

Day 1

投与開始基準
・ WBC > 3,000, 好中球 > 1,500
・ Plt > 100,000
・ AST/ALT < 2xULN

減量基準
・ WBC < 1,000, Plt < 25,000
・ 発熱性好中球減少
→ 5FU 600に減量

インラインフィルターを使用

- 1) 生理食塩液 50mL 血管確保
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL
オプジーボ 240mg 30分
- ↓
- 3) 生理食塩液 50mL フラッシュ
- ↓
- 4) 生理食塩液 50mL
デキサート 6.6mg 30分
- ↓
- 5) トリフリード 1000mL
5-FU 1120mg 24h

Day 2-4

- 1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg
- ↓
- 2) トリフリード 1000mL 24h
5-FU 1120mg

Day 5

- 1) トリフリード 1000mL 24h
5-FU 1120mg

Day 6

- 1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 15

インラインフィルターを使用

- 1) 生理食塩液 50mL 血管確保
- ↓
- 2) 生理食塩液 50mL
オプジーボ 240mg 30分
- ↓
- 3) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

治療法名	5-FU (800)																						
コース数	1	コース目																					
腫瘍種	食道がん																						
氏名		♂	年齢																				
患者ID			生年月日																				
部署		主治医	科	Dr																			
開始予定日																							
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...							
	予定日	1/0							1/7						1/14		1/21		1/28				
5-FU	800 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓													↓	↓	↓	↓	↓
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓	↓	↓													↓	↓	↓	↓	↓
治療開始日				治療間隔		4週間毎	予定コース数			コース													
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40		m ²														
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	49		mL/min																	

Day 1

投与開始基準
・ WBC > 3,000, 好中球 > 1,500
・ Plt > 100,000
・ AST/ALT < 2xULN

減量基準
・ WBC < 1,000, Plt < 25,000
・ 発熱性好中球減少
→ 5FU 600に減量

- 1) 生理食塩液 50mL
デキサート 6.6mg 30分
- ↓
- 2) トリフリード 1000mL
5-FU 1120mg 24h

Day 2-4

- 1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg
- ↓
- 2) トリフリード 1000mL 24h
5-FU 1120mg

翌日まで

Day 5

- 1) トリフリード 1000mL 24h
5-FU 1120mg

Day 6

- 1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

治療法名	FP 700/70		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	消

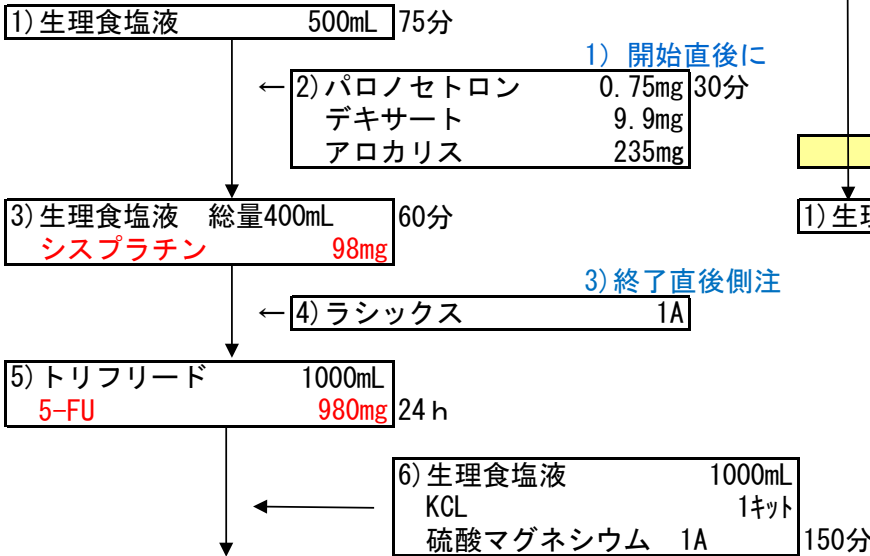
開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
5-FU	700 mg/m ²	↓	↓	↓	↓										↓	↓
シスプラチン	70 mg/m ²	↓													↓	
パロノセトロン	0.75mg	↓													↓	
デキサート	9.9mg	↓													↓	
デキサート	6.6mg		↓	↓	↓										↓	↓
アロカリス	235mg	↓													↓	
オランザピン	5mg	↓	↓	↓	↓										↓	↓
治療開始日									治療間隔	4週間毎	予定コース数					コース
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m ²								
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	49	mL/min											

Day 1

投与開始基準
・ WBC>3,000, 好中球>1,500
・ Plt>100,000
・ AST/ALT<2xULN
・ Cr<1.2 (Cr 60未満ではCDDP減量考慮)

メイン400mL/hで投与



Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg
↓
2) トリフリード 1000mL 24h
5-FU 980mg

Day 5

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少
→CDDP 60, 5FU 600に減量
・ Cr>1.5
→CDDP 60に減量

注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
(毎日1日1回体重測定)

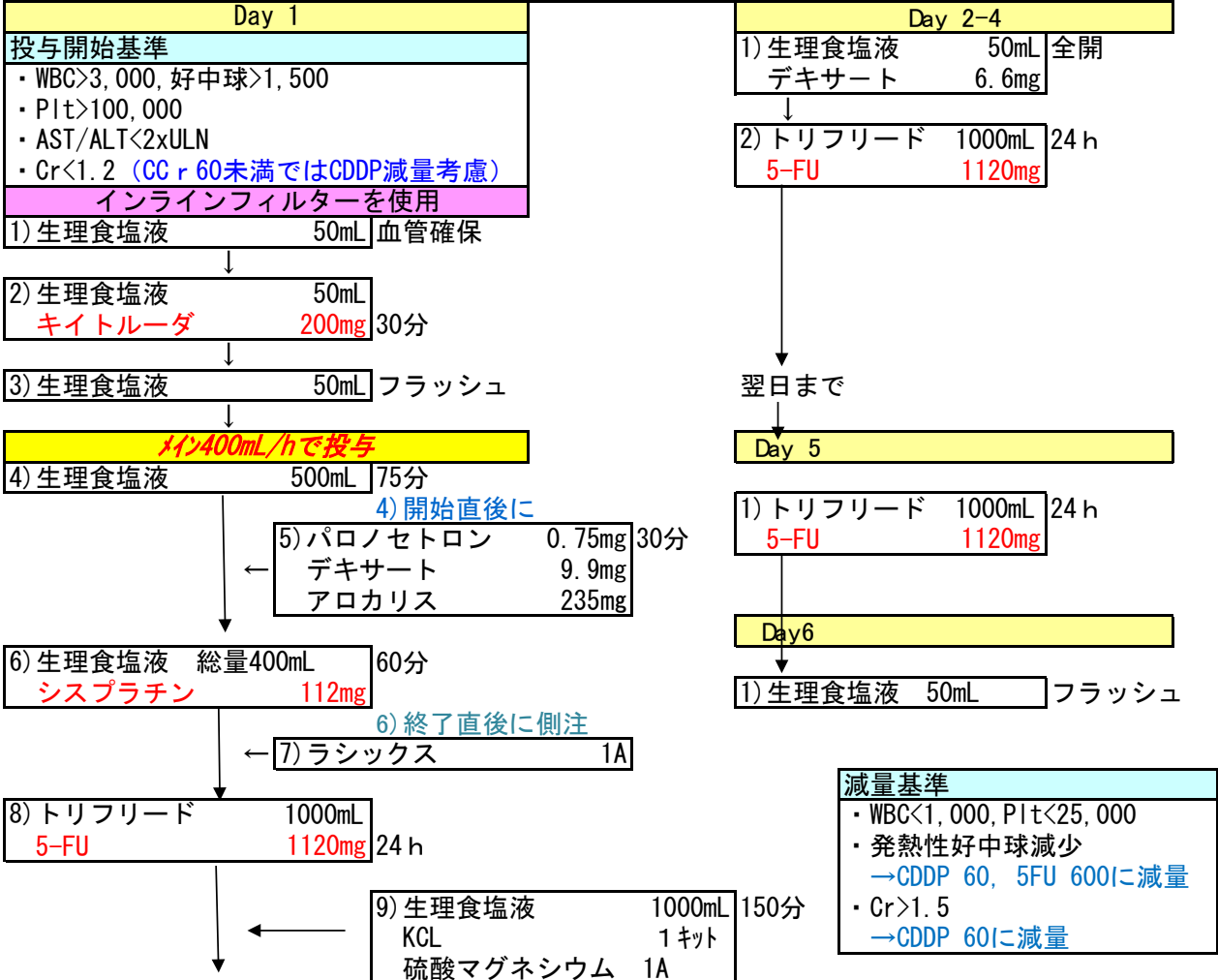
*オランザピン5mgはday1 の夕から

化学療法計画書

治療法名	FP 800/80+キイトルーダ		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
氏名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	15	22
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21	
キイトルーダ 200 mg		↓											↓	
5-FU 800 mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓							↓	↓
シスプラチン 80 mg/m ²		↓											↓	
パロノセトロン 0.75mg		↓											↓	
デキサート 9.9mg		↓											↓	
デキサート 6.6mg				↓	↓	↓							↓	↓
アロカリス 235mg		↓											↓	
オランザピン 5mg		↓	↓	↓	↓								↓	↓
治療開始日									治療間隔	3週間毎	予定コース数		コース	
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m ²						
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	49	mL/min									



注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌
 *1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
 (毎日1日1回体重測定)
 *オランザピン5mgはday1 の時から

減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少
→CDDP 60, 5FU 600に減量
・ Cr>1.5
→CDDP 60に減量

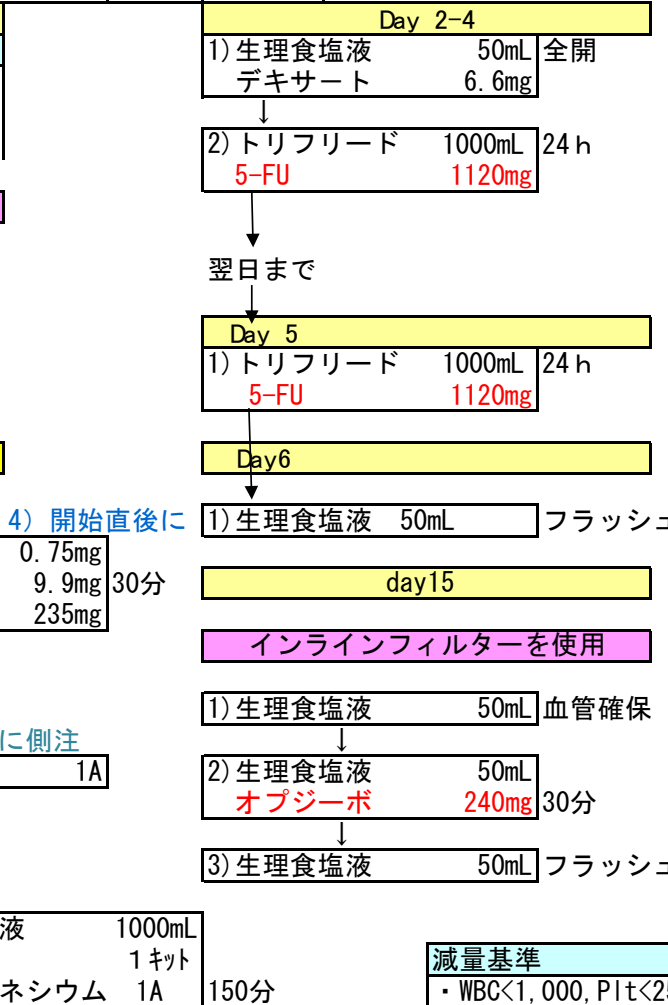
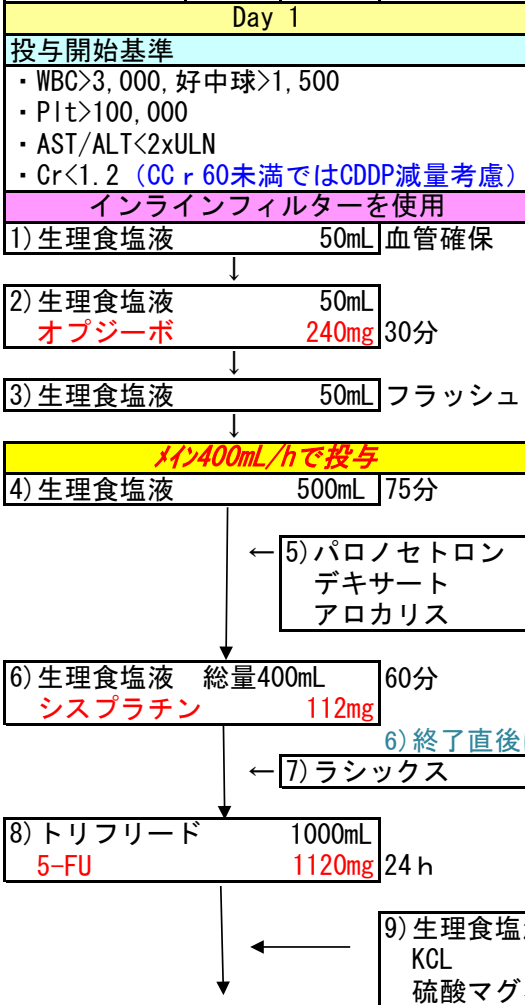
化学療法計画書

治療法名	FP 800/80+オブジーボ		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
氏名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署		主治医	科
			Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28
オブジーボ 240 mg		↓									↓				↓
5-FU 800 mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓									↓
シスプラチン 80 mg/m ²		↓													↓
パロノセトロン 0.75mg		↓													↓
デキサート 9.9mg		↓													↓
デキサート 6.6mg			↓	↓	↓										↓
アロカリス 235mg		↓													↓
オランザピン 5mg		↓	↓	↓	↓										↓

治療開始日		治療間隔	4週間毎	予定コース数		コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²	
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min			



注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談 (毎日1日1回体重測定)

*オランザピン5mgはday1 の日から

減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少 →CDDP 60, 5FU 600に減量
・ Cr>1.5 →CDDP 60に減量

化学療法計画書

治療法名	FP 800/80		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	科 Dr

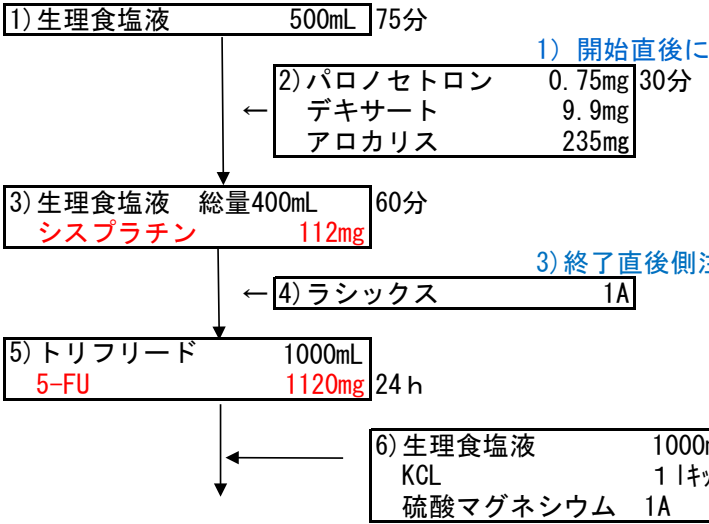
開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
5-FU	800 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓									↓	↓
シスプラチン	80 mg/m ²	↓													↓	↓
パロノセトロン	0.75mg	↓													↓	↓
デキサート	9.9mg	↓													↓	↓
デキサート	6.6mg		↓	↓	↓										↓	↓
アロカリス	235mg	↓													↓	↓
オランザピン	5mg	↓	↓	↓	↓										↓	↓
治療開始日								治療間隔	4週間毎	予定コース数					コース	
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m ²								
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	49	mL/min											

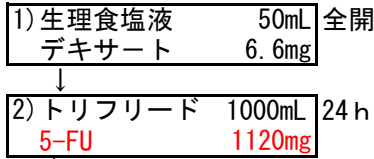
Day 1

投与開始基準
・ WBC > 3,000, 好中球 > 1,500
・ Plt > 100,000
・ AST/ALT < 2xULN
・ Cr < 1.2 (CCr 60未満ではCDDP減量考慮)

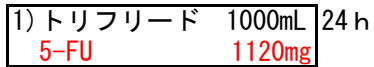
メイン400mL/hで投与



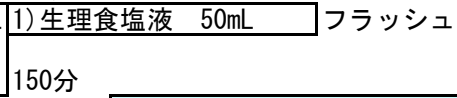
Day 2-4



Day 5



Day 6



注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
(毎日1日1回体重測定)

*オランザピン5mgはday1の夕から

減量基準
・ WBC < 1,000, Plt < 25,000
・ 発熱性好中球減少
→ CDDP 60, 5FU 600に減量
・ Cr > 1.5
→ CDDP 60に減量

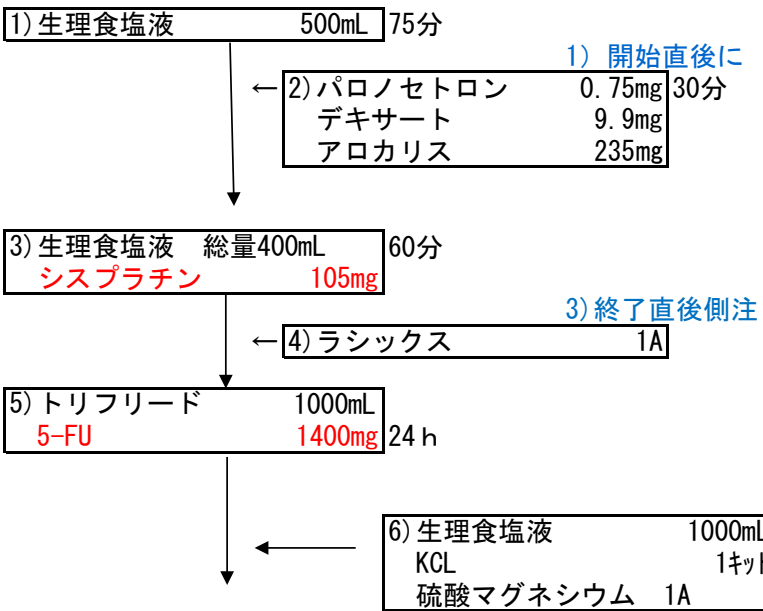
化学療法計画書

治療法名	放射線併用 FP1000/75															
コース数	1	コース目														
腫瘍種	食道がん															
氏名		♂	年齢													
患者ID			生年月日													
部署		主治医	科	Dr												
開始予定日																
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21		1/28	
5-FU	1000 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓									↓	↓
シスプラチン	75 mg/m ²	↓													↓	↓
パロノセトロン	0.75mg	↓													↓	
デキサート	9.9mg	↓													↓	
デキサート	6.6mg		↓	↓	↓										↓	↓
アロカリス	235mg	↓													↓	
オランザピン	5mg	↓	↓	↓	↓										↓	↓
治療開始日					治療間隔	4週間毎	予定コース数									コース
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.40	m ²								
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	49	mL/min											

Day 1

投与開始基準
<ul style="list-style-type: none"> WBC>3,000, 好中球>1,500 Plt>100,000 AST/ALT<2xULN Cr<1.2 (Cr 60未満ではCDDP減量考慮)

メイン400mL/hで投与



Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開	デキサート 6.6mg
↓	
2) トリフリード 1000mL 24h	5-FU 1400mg

Day 5

1) トリフリード 1000mL 24h	5-FU 1400mg
----------------------	-------------

Day 6

1) 生理食塩液 50mL	フラッシュ
---------------	-------

減量基準
<ul style="list-style-type: none"> WBC<1,000, Plt<25,000 発熱性好中球減少 →CDDP 60, 5FU 800に減量 Cr>1.5 →CDDP 60に減量

注意 糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
(毎日1日1回体重測定)

*オランザピン5mgはday1 の時から

化学療法計画書

治療法名	ドセタキセル単剤70mg/m ²															
コース数	1	コース目														
腫瘍種	卵巣がん、食道がん、子宮体がん、前立腺がん、HER2陽性唾液腺導管がん															
氏名		性別	年齢													
患者ID		生年月日														
部署		主治医	科	Dr												
開始予定日																
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...	29	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21			
ドセタキセル	70 mg/m ²	↓											↓			
グラニセトロン	1 mg	↓											↓			
デキサート	6.6mg	↓											↓			
デカドロン	8 mg		↓	↓	↓								↓	↓	↓	
ジーラスタ	3.6mg		↓										↓			
治療開始日		治療間隔		3週毎	予定コース数		6		コース							
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²											
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min													

Day 1

投与開始基準 ・好中球>2,000 ・Plt>100,000 ・AST/ALT<2xULN, T. Bil<1.5 (肝転移による上昇除く) ・G2以上の非血液毒性がない ・PS 0-1. PS 2は十分注意 ・AST/ALT>1.5xULNかつALP>2.5xULN, またはT. Bil>1.2 →減量考慮
次コースからの減量基準 ・WBC<1,000, Plt<25,000 ・発熱性好中球減少 →10mg/m ² 減量考慮 ・悪心嘔吐、脱毛除くG2以上の 非血液毒性 →10mg/m ² 減量を考慮

1) グラニセトロン	1 mg	30分
デキサート	6.6mg	
↓		
2) 5%ブドウ糖	250mL	60分
ドセタキセル	98mg	
↓		
3) 生理食塩液	50mL	フラッシュ

* 投与開始時まず5mL早送りし、10分間は50mL/hとして
 ベッドサイドで嚴重にアレルギー症状を観察
 問題なければ250mL/hへ

デカドロンは day 2 の朝から

化学療法計画書

2024年6月改訂

治療法名		パクリタキセル100mg/m ² 毎週							
コース数		コース目							
腫瘍種	食道がん								
患者名					♂	年齢			
患者ID					生年月日				
部署					主治医	科	Dr		
開始予定日									
治療内容	Day	1	8	15	22	29	36	43	50
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4		
パクリタキセル	100 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
ファモチジン	1A	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
ポララミン	1A	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
治療開始日			治療間隔	8週毎	予定コース数	PDまで			
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m ²				
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	49 mL/min						

投与開始基準 (day1)
<ul style="list-style-type: none"> WBC>3,000かつNeu>1,500 Plt>75,000 神経毒性G2以下 他のG2以上の非血液毒性なし PS 0-2
減量基準
<ul style="list-style-type: none"> G4の好中球減少 FN Plt<20000 G3の非血液毒性 G2以上の神経毒性、関節痛 筋肉痛 ⇒80mg/m ² ⇒60mg/m ²

投与可否の基準 (day8, 15, 22, 29, 36)
<ul style="list-style-type: none"> WBC>2,000かつNeu>1,000 Plt>50,000 神経毒性G1以下 他のG2以上の非血液毒性なし

